

平成25年度組織編成の特色

局区の自律経営

厳しい財政状況下、事業の選択と集中を徹底し、限られた経営資源を効果的・効率的に配分するため、局区の自律的な経営機能の強化が必要。

局区への権限移譲

局区の自律経営の実現のため、平成25年度組織編成においては、局区の権限を拡大。
各局区は、事業計画に応じた執行体制となるよう、一定のルール範囲内で、主体的かつ効果的に組織編成を実施。

筋肉質な組織の実現

重点戦略や重要施策の推進のための組織の新設や増員を行う一方で、事務事業の見直しにより組織のスリム化や減員を行い、より筋肉質な組織づくりを実現。

◆職員数＜総定員＞：9,755人（H24:9,757人）
2人の純減
（302人の増、304人の減）

◆組織数＜係相当以上＞：2,753（H24:2,774）
21の純減

主な新設・増員等

生活の質の向上

- 増員** 児童虐待防止と子育て不安の解消に向け、こども総合相談センターや地域における子育て支援体制を強化＜こども、区＞ +7
- 増員** 子育て環境のさらなる充実に向け、市立田隈保育所における保育サービスを拡充＜こども＞ +3
- 増員** 増加が続いている生活保護世帯に適切に対処するため、生活保護業務に係る体制を強化＜区＞ +29
- 新設** 待機児童解消策の一環として、個々のニーズに合った保育サービスに関する情報提供、助言等を行うため、「福岡市保育コンシェルジュ」を新たに配置＜区＞（嘱託）+7

その他

- 新設** ICTガバナンスを強化するため、理事（CIO補佐官）を新設 +1
市民サービス向上及び業務の高度化・効率化に向け、全庁的なICT戦略を推進するため、ICT戦略室を新設＜総企＞ +1
- 新設・増員** 財源の積極的な確保に向け、市有財産の有効活用をさらに推進するため、財産有効活用部を新設 +1
財産有効活用推進等に係る体制強化＜財政＞ +8
- 増員** 窓口の混雑緩和など、区役所の窓口サービス向上に係る体制強化＜東区＞ +3

都市の成長

- 新設** 拠点文化施設整備、福岡空港滑走路増設への対応など、プロジェクトの推進のため、理事を新設＜経済＞ +1
- 新設** 再生可能エネルギーの積極導入やスマートコミュニティ創造事業等を推進するため、エネルギー政策担当部を新設＜環境＞ +1
- 増員** 都市観光の推進や国際コンベンションの誘致など、戦略的な観光・MICEの推進＜経済＞ +5
- 増員** 地下鉄七隈線延伸事業の推進＜交通＞ +5

主な廃止・見直し等

- 水道サービス公社南、城南営業所業務の民間委託 ▲21
- 西戸崎保育所の民営化＜こども＞ ▲16
- 健康づくり財団の解散 ▲9
- 土地開発公社の事業縮小及び体制見直し ▲7
- 自動車運転業務の体制見直し＜財政＞ ▲4
- 地下鉄七隈線延伸事業の進捗に伴う体制見直し ▲3
- 組織体制の見直し
・総務企画局理事の廃止
・空港整備推進担当部の廃止
・人権教育部の廃止